

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書(設置編)」(本書)と別冊の「安全上のご注意」,「取扱説明書(IP設定編)」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なお読みください。製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

本機の取り付け方は、裏面以降をご覧ください。 LST1240-001A

安全上のご注意

本機に電源を供給するには、PoEを利用します。正しい電圧でお使いください。定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにご相談窓口へご連絡してください。定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにご相談窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

この取扱説明書の見かた

- 本書では本機の設置に関する操作を説明します。
- ネットワークの基本設定については[取扱説明書(IP設定編)]をご覧ください。
 - 画像やネットワークなどの設定については付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。
 - 最新の情報については、付属のCD-ROM内の"README"ファイルをご覧ください。
 - 付属のCD-ROMには、[取扱説明書(設定編)](pdf)、[APIガイド](pdf)、[JVC-VN-検索ツール]、[JVC-VN-IP設定ツール]、[README](txt)が含まれています。

本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
- メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になることが書かれています。
- : 参照ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行なうことは禁じられています。
- Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、®などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のために予告なく変更することがあります。

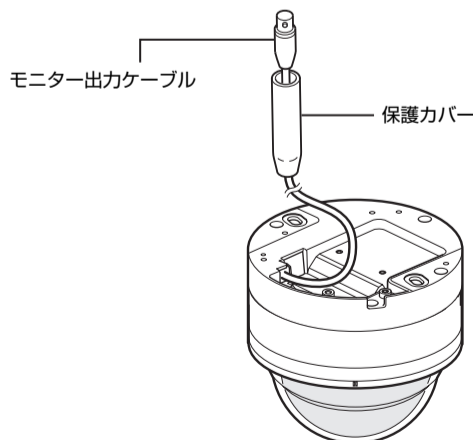
添付物・付属品

[取扱説明書(設置編)](本書)	1	[取扱説明書(IP設定編)]	1
保証書	1	ご相談窓口案内	1
CD-ROM	1	安全上のご注意	1
ねじ (M2)	2		

ケーブルについて

● モニター出力ケーブル

モニター出力ケーブルは保護カバーを下げて、コネクタ同士を接続してください。接続が完了したら保護カバーでコネクタを覆ってください。



● LANケーブル

- HUBに接続する場合: ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合: クロスケーブルを使用してください。
- ケーブルには、カテゴリ5以上のSTP(シールドケーブル)を推奨します。

ご注意

- パソコンによってはクロスケーブルを利用できない機種があります。パソコンに接続する場合には事前にパソコンのLAN仕様をご確認ください。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について
保証期間は、お買い上げ日から1年間です。保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他の詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先
その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店または別紙ご相談窓口案内をご覧ください。最寄りのご相談窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは
お買い上げ販売店、またはご相談窓口にて次のことをお知らせください。
品名: ドーム型HDネットワークカメラ
型名: VN-H237
お買い上げ日:
故障の状況: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所、お名前、電話番号:
商品廃棄について
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

☎ 0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話 (045) 450-8950 [代表]
FAX (045) 450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

LST1240-001A

© 2012 JVC KENWOOD Corporation

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- 本機は屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
- 次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因となります。
 - ・使用周囲温度(-10℃~50℃) 範囲外の暑いところや寒いところ
 - ・許容動作湿度(20%RH~90%RH)範囲外の湿気の多いところ(結露なきこと)
 - ・変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - ・トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ・ほこりや砂の多いところ
 - ・振動のあるところ
 - ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - ・厨房など蒸気や油分の多いところ
 - ・放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ
 - ・プールなど薬剤を使用するところ
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機を冷気があたる場所やエアコンの噴出口の近くに設置しないでください。急激な温度変化によってドームカバーがくもるおそれがあります。
- 熱のこもる場所に設置しない
本機は本体表面からも放熱を行なっています。壁の角など熱のこもる場所に設置しないでください。

取り扱いについて

- 通風を妨げない
本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像・音声の著作権者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信などには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する際、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- 被写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係る許諾条件を十分ご確認ください。
- 録画(録音)したものは個人として楽しむなどの場合は著作権上、権利者に無断で使用できません。

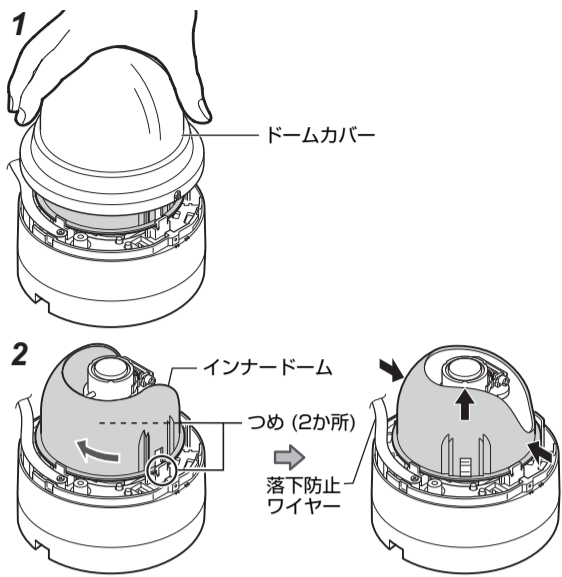
免責について

- 動き検出機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した損害に対する責任は一切負いません。
- 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。

この装置は、情報処理等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ドームカバー／インナードームを取りはずす

- ドームカバーは反時計方向に回すと取りはずせます。
- インナードームは反時計方向に約45°回し、つめ(2か所)が掛かっている所の近くを両側からつかんで取りはずします。



カメラ本体を取り付ける

ご注意 作業の前にお読みください。

- 本機を設置する場合は専門の技術が必要となります。
- 設置場所は、十分強度のある箇所に取り付けてください。
- 作業をする前は、必ず機器の電源をお切りください。
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。

天井または壁に穴(φ約30 mm)を開ける

ご注意

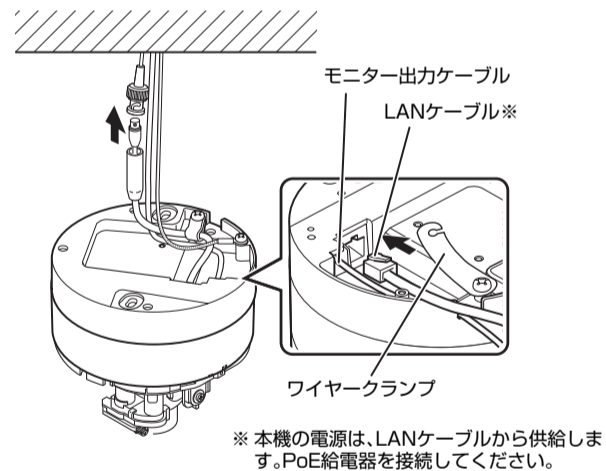
- 落下防止ワイヤーは、長さ・強度などを十分考慮したものを使用してください。材質は絶縁材を使用してください。

メモ

- 直接天井に埋め込んで設置する場合は、別売りの天井埋込ブラケット(WB-S2205)をご使用ください。
- 電工ボックスを使って本機を取り付けたい場合は、お買い上げ販売店または最寄りのご相談窓口にご相談ください。

天井または壁にφ約30 mmの穴をあけ、落下防止ワイヤー、ケーブル類を穴から出します。(落下防止ワイヤー、ケーブル類は付属されていません)

各種ケーブルを接続する



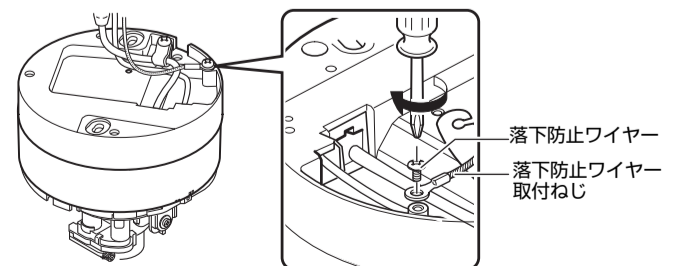
ご注意

- 落下防止ワイヤーは、天井や壁など強度のある場所に取り付けてください。
- 落下防止ワイヤーのねじ止め部の内径は、φ3.1 mm以上φ5.5 mm以下のものを使用してください。
- 抜け防止のためLANケーブルのロックは確実に行ってください。
- PoE給電器は、接地を確実にし、お使いください。

各種ケーブルを固定する

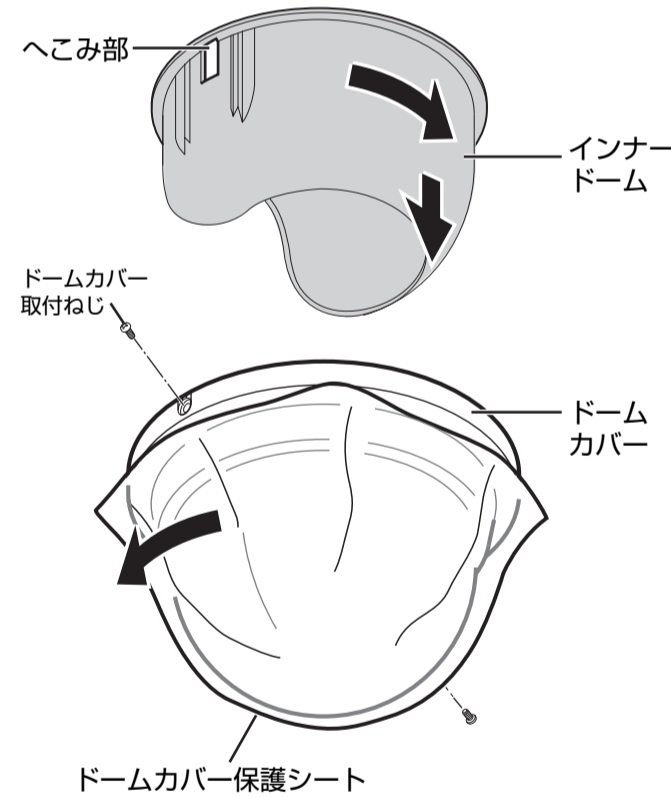
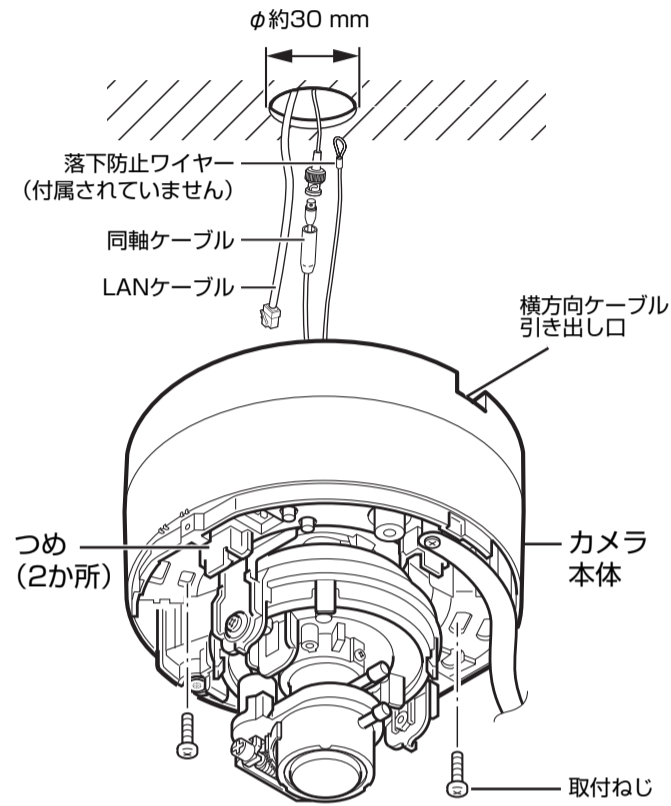
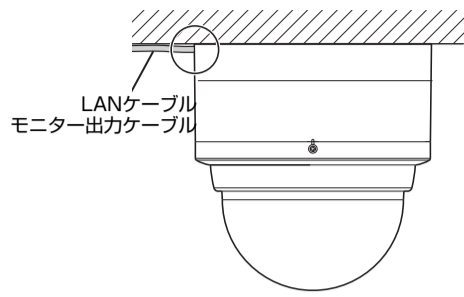
落下防止ワイヤーの固定

- 落下防止ワイヤーは落下防止ワイヤー取付ねじで固定してください。



ケーブルを横出しして取り付ける場合

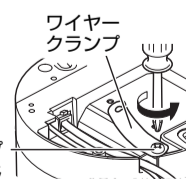
天井または壁に、大きな穴を開ける事ができない場合、カメラ本体横のくぼみからケーブルを引き出し、接続してください。



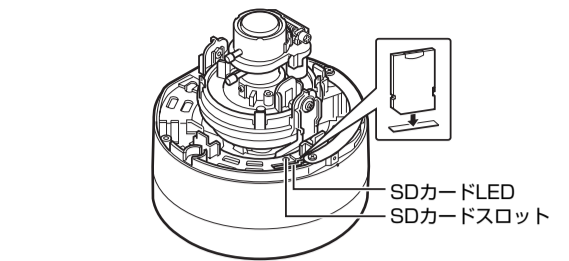
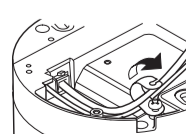
LANケーブルの固定

LANケーブルはワイヤークランプを使って、固定してください。

- ワイヤークランプ取付ねじを、はずれない程度にゆるめる



- ワイヤークランプでLANケーブルを巻く



SDカードスロットは、SDカードを本体に挿入するときに使います。

ご注意

- SDカード記録には現在対応していませんので、SDカードを挿入しないでください。

取り付け方向マーク(↑)を撮影方向に向け、カメラ本体を天井または壁に取り付ける

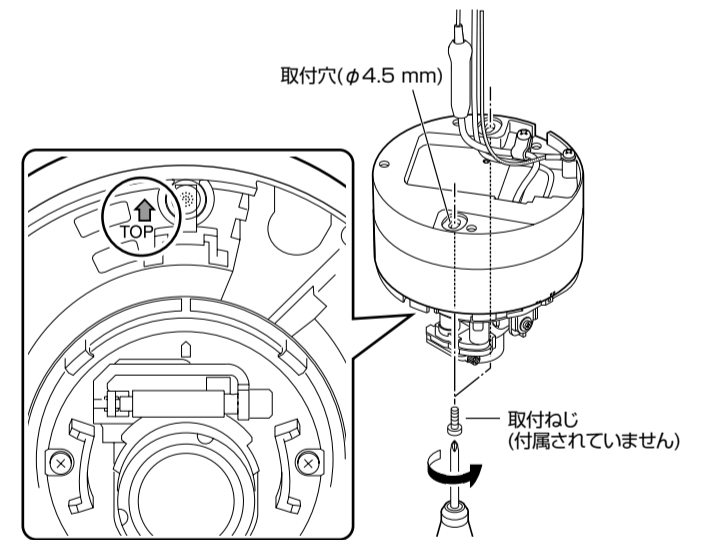
ご注意

- 取付穴は、φ4.5 mmです。
- 皿ねじは使用しないでください。
- インパクトドライバーを使用する場合は最後まで締め込まず、締め込みは手で行なってください。ケースが破損するおそれがあります。
- 適正なねじを使用し、確実に締め付けてください。
- ねじ頭がφ6.5 mm以上φ11 mm以下のねじをご使用ください。

取付方向マーク(↑)を撮影方向に向けて取り付けます。

メモ

- 壁に取り付ける場合は、取り付け方向マーク(↑)が上を向くように取り付けてください。



メモ

- 必要に応じて付属のドームカバー取付ねじ(2本)でドームカバーを固定します。

電源を入れる

各種ケーブル接続と本機取り付け後、機器の電源を入れてください。起動中は[STATUS]表示灯がオレンジ色に点灯し、起動後は緑色に点灯します。

映像を調節する

実際の映像を見ながら映像を調節します。

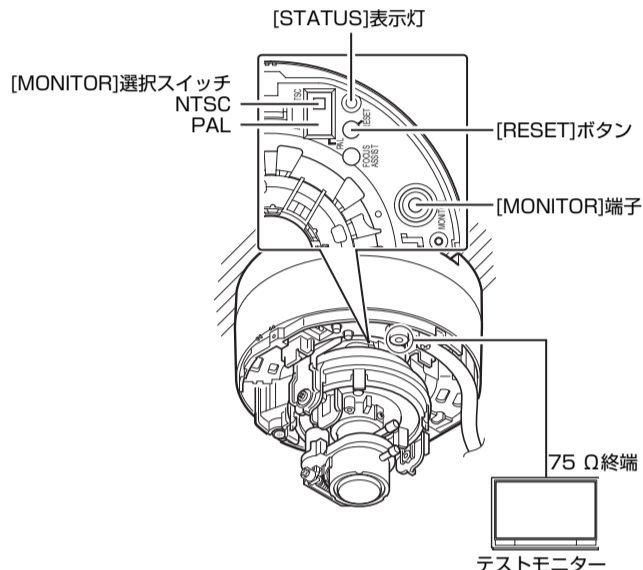
※天井に直接取り付けした場合のイラストを使用して説明しています。天井に埋め込んで取り付けした場合およびケーブルを横出して取り付けた場合も、作業内容は同じです。

ご注意

- カメラ本体を触る前に必ず[MONITOR]端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。
- 静電気により本機が故障する場合があります。

撮影方向を調節する

1 [MONITOR]端子にテストモニターを接続する



メモ

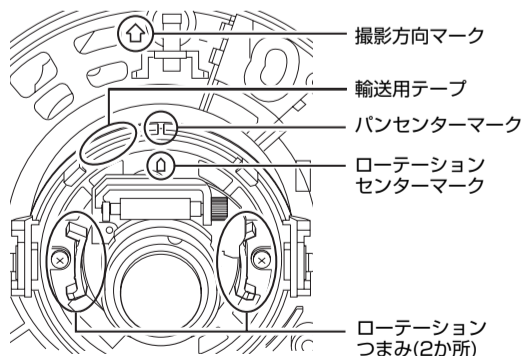
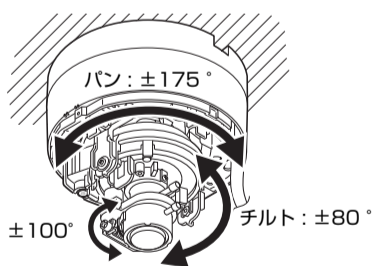
- モニター出力映像の縦横比は、16:9です。テストモニターの縦横比が4:3の場合、カメラ映像の縦横比を4:3に変換して映像が表示されます。
- NTSCモニターに接続する場合は"NTSC"、PALモニターに接続する場合は"PAL"に設定し、[RESET]ボタンを約3秒ほど押し続けて再起動します。
- [RESET]ボタンを5秒以上押し続けると、サービスモードになりますので、5秒以上押し続けしないでください。

2 撮影方向を調節する

- 調整する前に、輸送用テープ(水色)をはがしてください。
- パン、チルト、ローテーションの調節をし、レンズを被写体に向けます。
- 画角の調節後、画角がずれないように、チルト固定ねじを締めて固定してください。

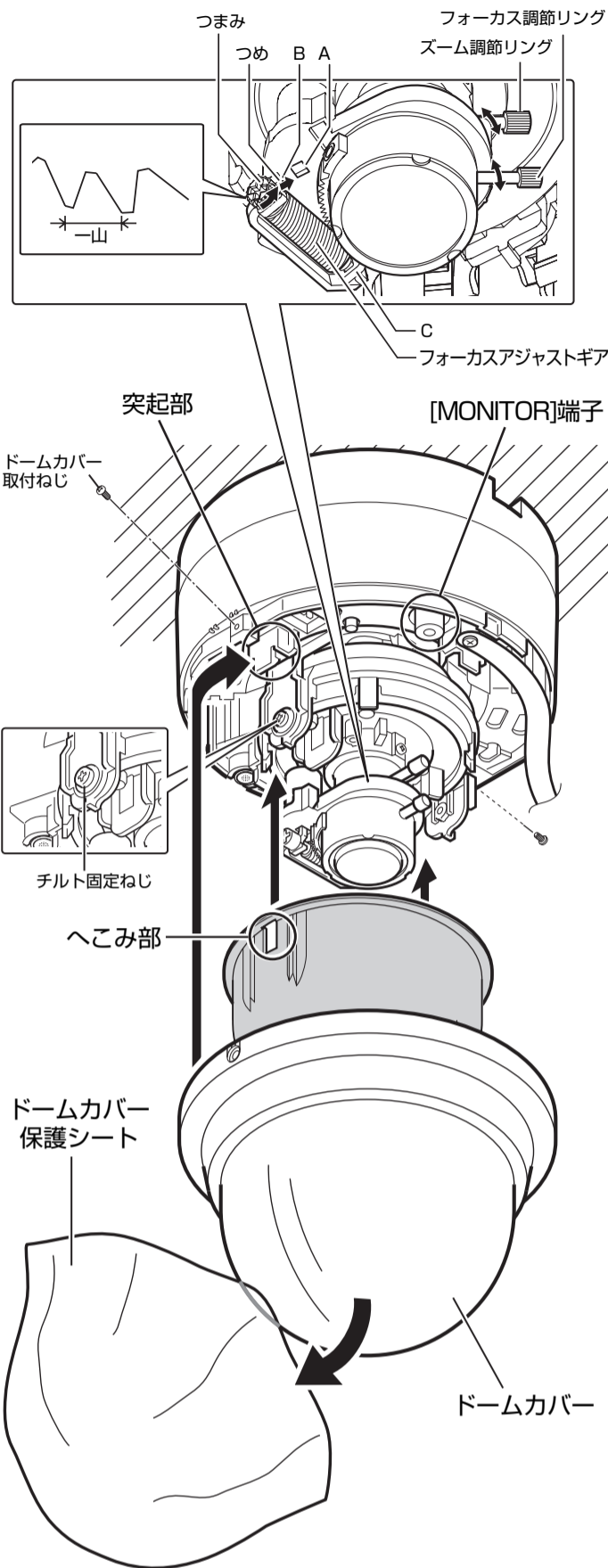
ご注意

- 調節範囲を超えてパン、チルト、ローテーションを動かすと、本機が破損する場合があります。
- 本機では、チルト、ローテーションの範囲が広いので、画角や向きによっては、本機の一部が撮影画面に映り込む場合があります。
- パン、チルト、ローテーションの方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。



メモ

- レンズはカメラ本体の撮影方向マークと、パンセンターマーク、ローテーションセンターマークの3つのマークを合わせた位置より、パン方向に±175°、ローテーション方向に±100°、チルト方向に±80°、それぞれ回転します。ローテーションを調節する場合は、レンズ部を持たず、必ずローテーションつまみを持ち、調節してください。
- カメラ本体を取り付けるときは、撮影方向マークを撮影する範囲に合わせて取り付けてください。



画角とフォーカスを調節する

1 ズーム比を調節する

ズーム調節リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かしてズーム比を調節します。調節が終わったら、固定ねじをレンズ方向(被写体方向)に寄せて締めます。

2 フォーカスを粗調節する

- フォーカスアジャストギアをつまみを持ちあげ、つまみを図のAからBに入れます。
 - ギアのかみ合わせが解除されます。

ご注意

- ギアをBより外側にひらきすぎた場合、破損を防ぐためギアの軸が軸受け(図中C)からはずれません。このような場合は軸を軸受けCに入れなおし、元の状態に戻してご使用ください。

- フォーカス調節リングの固定ねじをゆるめ、左右に動かし、フォーカスを調節します。

3 フォーカスを微調節する

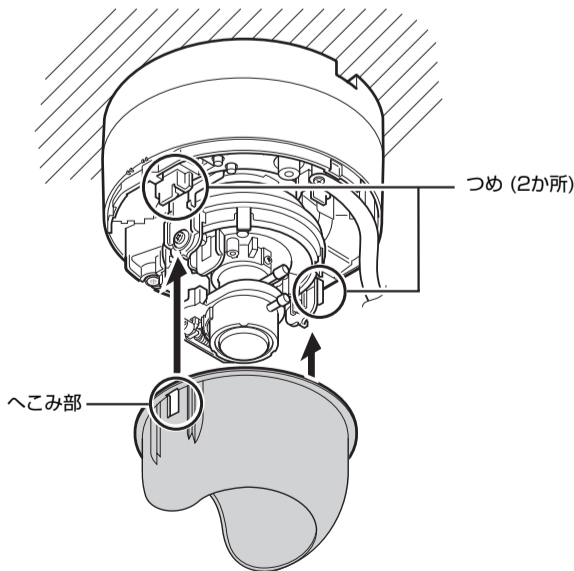
- フォーカスアジャストギアをつまみを図のAに戻し、フォーカスアジャストギアを元の状態に戻します。
- [FOCUS ASSIST]ボタンを押します。
 - フォーカスアシストモードになり、[STATUS]表示灯が緑色とオレンジ色の点灯を繰り返します。
 - 絞りが開放になると共に輪郭が強調されます。
- フォーカスアジャストギアをつまみを左右に回し、フォーカスが最適になるようにします。
- 図の矢印の方向へフォーカスアシストギアをつまみを約一山分回します。
 - これでドームカバーを取り付けたときのフォーカスのずれを補正します。
- いったんドームカバーの保護シートを剥がし、ドームカバーをかざしてフォーカスを確認します。
 - 確認が終了したら再度保護シートをドームカバーに貼ります。
- フォーカス調節リングの固定ねじを締めてフォーカスを固定します。
- [FOCUS ASSIST]ボタンを押します。
 - フォーカスアシストモードが解除されます。
 - STATUS LEDが緑色に点灯します。

ドームカバーを取り付ける

ドームカバーを取り付ける場合は、[MONITOR]端子にケーブルが接続されていないことを確認してください。

インナードームを取り付ける

突起部をインナードームのへこみ部に合わせ、矢印方向にはめてください。つまみがパチリと音がするまで、インナードームを押し込みます。

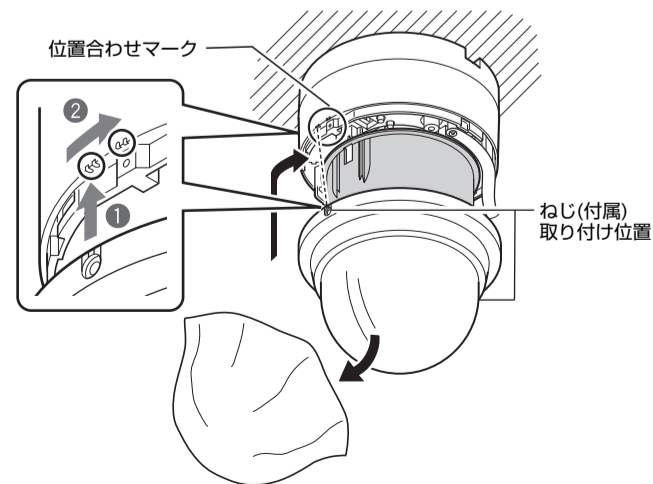


ドームカバーを取り付け、ドームカバー保護シートをはがす

ご注意

- ドームカバーの取り付け後に再度ドームカバーをはずすと、画角がずれることがあります。画角がずれた場合は、再度フォーカス・画角調節を行なってください。
- ドームカバーは確実に取り付けいたか確認してください。不完全な取り付けは、カバー脱落の原因となります。

カメラ本体とドームカバーにある位置合わせマーク(2か所)を合わせて、ドームカバーを取り付け、ドームカバーをねじで固定します。



メモ

- 必要に応じて付属のドームカバー取付ねじ(2本)でドームカバーを固定します。

こんなときは

症状	対応について
モニター画像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> 底面のモニター出力ケーブルを録画機器や他のモニターにつないだまま、ドームカバー内部のモニター出力(RCA端子)とテストモニターを接続した場合画像が暗くなる場合があります。 モニター出力ケーブルと録画機器や他のモニターとの接続をはずすか、どちらかの機器の終端を「OPEN」にしてください。 映像調節終了後は元に戻してください。
フォーカスが合わない	フォーカスアジャストギアはかみ合っていますか。つめの位置をご確認ください。

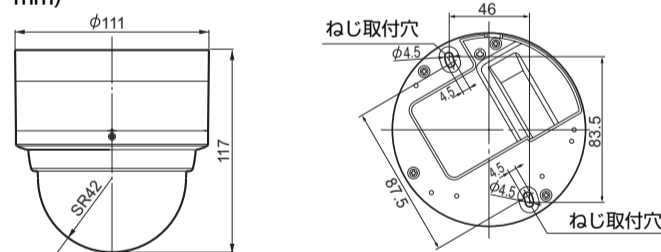
memo

仕様

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

カメラ部	撮像素子	1/3 型正方形素子プログレッシブスキャン方式CMOS(原色フィルタ)
	有効画素数	約2,120,000 画素 1944(H)×1092(V)
	最低被写体照度	カラー:0.3 lx(typ.) 白黒(簡易デナイト):0.25 lx (typ.)
モニター出力		75 Ω、1 Vp-p NTSCまたはPAL(スイッチ切替)
ネットワーク出力	画像圧縮フォーマット	JPEG、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile
	フレームサイズ	1920×1080 1280×960 1280×720 640×480 640×360 320×240
	ネットワークインターフェース	RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T/FULL/HALF/オートネゴシエーション対応
アラーム記録		16 MB
レンズ	焦点距離	f = 2.8 mm ~ 10.5 mm
	最大口径比	F1.2(f = 2.8 mm) ~ F2.6(f = 10.5 mm)
	絞り範囲	F1.2 ~ F360
	ズーム比	3.75 倍
LAN規格	規格	IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3af準拠
	通信プロトコル	TCP/IP、UDP/IP、HTTP、FTP、ICMP、ARP、RTP、DHCP、SNTP、SMTP、IPv4、IPv6、DSCP、RTSP
総合	電源電圧	PoE(DC-48 V)
	消費電流	120 mA
	周囲温度	-10℃ ~ 50℃(動作) 0℃ ~ 40℃(推奨)
	周囲湿度	20%RH ~ 90%RH(結露なきこと)
	質量	約450 g
	オプション(別売)	天井埋込ブラケット(WB-S2205)

外形寸法図(単位: mm)



天井取付穴(単位: mm)

